

令和 8 年度 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院 医師労働時間短縮計画

1. 計画期間

令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日

2. 対象医師

外科医師 (6 名)	消化器内科医師 (5 名)	糖尿病内科医師 (4 名)
循環器内科医師 (12 名)	心臓血管外科医師 (3 名)	産婦人科医師 (3 名)
産科医師 (1 名)	婦人科医師 (1 名)	精神科 (2 名)
形成外科医師 (2 名)	歯科・歯科口腔外科医師 (2 名)	整形外科医師 (4 名)
脳神経外科医師 (3 名)	泌尿器科医師 (4 名)	麻酔科医師 (4 名)
リハビリテーション科医師 (1 名)	眼科医師 (2 名)	放射線科医師 (4 名)
病理診断科医師 (1 名)	呼吸器外科医師 (1 名)	血液内科医師 (2 名)
呼吸器内科医師 (3 名)	小児科医師 (5 名)	腎臓内科医師 (2 名)
総合診療科医師 (6 名)	救急集中治療科医師 (9 名)	乳腺外科 (1 名)
神経内科医師 (1 名)	臨床研修医 (18 名)	

3. 労働時間と組織管理

(1) 労働時間数

外科医師 (6 名)

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	582 時間 25 分	1635 時間	1635 時間
最長	883 時間 45 分	1635 時間	1635 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

消化器内科医師 (5 名)

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	78 時間 22 分	960 時間	960 時間
最長	354 時間 38 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
----------------	--------	--------	--------

糖尿病内科医師（4 名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	351 時間 29 分	960 時間	960 時間
最長	465 時間 42 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

循環器内科医師（12 名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	461 時間 26 分	1635 時間	1635 時間
最長	975 時間 35 分	1635 時間	1635 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	1 人 8.3%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

心臓血管外科医師（3 名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	687 時間 51 分	1635 時間	1635 時間
最長	1471 時間 38 分	1635 時間	1635 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	1 人 33.3%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

産婦人科医師（3 名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	650 時間 33 分	1635 時間	1635 時間
最長	1371 時間 35 分	1635 時間	1635 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	1 人 33.3%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

産科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	1005 時間 6 分	1635 時間	1635 時間
最長	1005 時間 6 分	1635 時間	1635 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	1 人 100%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

婦人科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	272 時間 57 分	1635 時間	1635 時間
最長	272 時間 57 分	1635 時間	1635 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

形成外科医師（2名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	59 時間 00 分	960 時間	960 時間
最長	108 時間 15 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

歯科・歯科口腔外科医師（2名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	4 時間 00 分	960 時間	960 時間
最長	6 時間 02 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

整形外科医師（4名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標

平均	643 時間 56 分	960 時間	960 時間
最長	833 時間 05 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

脳神経外科医師（3名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	302 時間 44 分	960 時間	960 時間
最長	374 時間 51 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

泌尿器科医師（4名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	552 時間 57 分	1635 時間	1635 時間
最長	989 時間 36 分	1635 時間	1635 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	1 人 25%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

麻酔科医師（4名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	253 時間 40 分	960 時間	960 時間
最長	550 時間 26 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

リハビリテーション科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	554 時間 24 分	960 時間	960 時間
最長	554 時間 24 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
----------------	--------	--------	--------

眼科医師（2 名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	369 時間 09 分	960 時間	960 時間
最長	529 時間 36 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

放射線科医師（4 名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	218 時間 16 分	960 時間	960 時間
最長	504 時間 00 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

病理診断科医師（1 名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	52 時間 42 分	960 時間	960 時間
最長	52 時間 42 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

呼吸器外科医師（1 名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	282 時間 54 分	960 時間	960 時間
最長	282 時間 54 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

血液内科医師（4名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	485 時間 11 分	960 時間	960 時間
最長	510 時間 32 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

呼吸器内科医師（3名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	320 時間 51 分	960 時間	960 時間
最長	638 時間 50 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

小児科医師（5名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	152 時間 03 分	960 時間	960 時間
最長	359 時間 29 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

腎臓内科医師（2名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	836 時間 40 分	1635 時間	1635 時間
最長	926 時間 03 分	1635 時間	1635 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

総合診療科医師（6名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	272 時間 32 分	1635 時間	1635 時間
最長	733 時間 05 分	1635 時間	1635 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

救急集中治療科医師（9名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	401 時間 22 分	1635 時間	1635 時間
最長	1142 時間 15 分	1635 時間	1635 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	1 人 11.1%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

乳腺外科（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	164 時間 56 分	960 時間	960 時間
最長	164 時間 56 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

神経内科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	0 時間 0 分	960 時間	960 時間
最長	0 時間 0 分	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

臨床研修医（18名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標

平均	442 時間 18 分	1635 時間	1635 時間
最長	589 時間 57 分	1635 時間	1635 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%
1860 時間超の人数・割合	0 人 0%	0 人 0%	0 人 0%

(2) 労務管理・健康管理

【労働時間管理方法】

前年度の取組実績	前年度に引き続き新勤怠管理システム（Timepro）を用いた、医師による申請及び部署長による承認制を導入、正しい実績把握に取り組んだ。
当年度の取組目標	勤怠実績の分析を行い、より精緻な勤務実態の把握に努める。
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む。

【宿直許可の有無を踏まえた時間管理】

前年度の取組実績	宿直中の業務を申告制とすることで、業務時間の把握を可能にした。内容の精査等を行い業務状況の把握、改善に努めた。
当年度の取組目標	申告制導入に伴う課題に対し各種、より詳細なマニュアル整備やルール作りを行い、運用改善に努める。具体的には部署長承認制の導入を検討する。
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む。

【医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等】

前年度の取組実績	勤怠マニュアルに自己研鑽の内容についての項目を盛り込み、更なる周知強化を行った。
当年度の取組目標	宿直中の業務申告制同様、詳細なマニュアル整備ルール作りを継続し運用改善に努める。申請に対する部署長承認制の導入を検討する。
計画期間中の取組目標	上記事項を適切に管理する。

【労使の話し合い、36 協定の締結】

前年度の取組実績	働き方改革委員会を月 1 回開催する。なお、雇用契約時には 36 協定を適切に締結している。
当年度の取組目標	上記事項に取り組む。
計画期間中の取組目標	同上

【衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制】

前年度の取組実績	安全衛生委員会を月1回開催している。また、健康診断を年2回実施している。
当年度の取組目標	上記事項に取り組む。
計画期間中の取組目標	同上

【追加的健康確保措置の実施】

前年度の取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・面接指導の実施体制に係る規程を見直し修正をした。 ・指導医負担軽減を目的に、新たに面接指導実施医師を追加選任した。 ・取り決めした規定やルールに則り、面接指導対象医師に対し面接指導を確実に実施した。
当年度の取組目標	・連続勤務時間制限や勤務間隔インターバルの確保、代償休息確保に関する規定やルールの見直し修正をする。
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む。

(3) 意識改革・啓発

【管理者マネジメント研修】

前年度の取組実績	国等が実施する病院長向けの研修会に病院長、副院長が参加した。診療科部長等に向けた管理者のマネジメント研修を1回開催し、受講させた。
当年度の取組目標	引き続き国等で実施の研修会に病院幹部が参加とする。それを経て診療科部長等に向けた管理者のマネジメント研修を年1回以上開催、受講させる。
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む。

(4) 策定プロセス

各職種（医師、看護師、コメディカル、事務）から代表者11名が参画する働き方改革委員会を月1回開催し、この計画の検討を行い策定した。策定の段階において、本計画の対象となる医師やタスク・シフト先となる職員を対象とした説明会を開催し、意見交換を実施するとともに、策定後には本計画を外部としては当院ホームページ内、また院内では医局のほか各所に掲示している。

4. 労働時間短縮に向けた取組

(1) タスク・シフト/シェア

【看護師】

計画策定時点での取組実績	前年に引き続き、特定看護師を一名育成済み（今後も年1～2
--------------	------------------------------

	名程度の育成計画を元に)
計画期間中の取組目標	特定行為等、医師の指示に基づく業務拡大の検討を進める（NPの導入など）

【医師事務作業補助者】

計画策定時点での取組実績	医師事務作業補助者の業務平準化を推進し、効率的に対応できる体制を整備した。
計画期間中の取組目標	書類作成等に関する AI の活用により対応業務の拡充を進める。

(2) 医師の業務の見直し

計画策定時点での取組実績	一部診療科ではチーム制での診療体制を導入し安定稼働中。また業務用スマートフォン導入を開始。業務効率化に活用中。
計画期間中の取組目標	業務用スマートフォンについては今後、利用範囲の拡充（電カル連動など）を行う。

(3) その他の勤務環境改善

計画策定時点での取組実績	前回に引き続き、宿直明けに公休付与を行う体制を整備し、医師の負担軽減を行う。予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮等を行い、予定手術前日の当直等（当直、夜勤及び緊急呼出し当番）や連続当直は原則行わず、最大 4 回までとする。
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む。

(4) 副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

計画策定時点での取組実績	副業・兼業先の労働時間の実績を毎月月初のアンケート調査により実施、把握している。定期的な副業に変更が発生した時、あるいは臨時副業が発生した時なども、このアンケート調査により随時医局に報告する体制を整えている。
計画期間中の取組目標	今回より、より精度の高い数値データへと繋げる為、アンケート調査項目の見直し（例、宿日直許可の有無等）を行う。

(5) C-1 水準を適用する臨床研修医及び専攻医の研修の効率化

計画策定時点での取組実績	2025 年 4 月より臨床研修医において準夜勤の導入を開始。当直回数を削減し、効率的な臨床能力の習得向上に努めた。
計画期間中の取組目標	毎月の臨床研修管理委員会において臨床研修医の労働時間の

	報告を行い、研修医全体の時間外労働の把握に努める。
--	---------------------------

(6) 適切な 36 協定の締結・届出

【勤務体制の見直し方法】

計画策定時点での取組実績	36 協定の上限時間を超えた場合の対象医師の勤務体制の見直し等を検討する為のルール整備を実施、運用開始中。
計画期間中の取組目標	毎月の働き方改革委員会において医師の労働時間の報告を行い、医師全体の勤務体制の把握に努める。

【医師から意見をくみ取る仕組み】

計画策定時点での取組実績	長時間労働医師への面談を適切に実施出来ている。 毎月の医局会において医師の勤怠状況などを報告するとともに月単位で業務負担に関する意見を聞く場を必ず設けている。
計画期間中の取組目標	毎月の働き方改革委員会において医師の労働時間の報告を行い、医師全体の勤務体制の把握に努める。

(7) 医師の労務管理における適切な労働時間の把握・管理体制

【労働ではない時間（主に自己研鑽）を把握する仕組み】

計画策定時点での取組実績	勤怠申請マニュアルを整備し手続きを明確化した。
計画期間中の取組目標	課題等が出た際には、毎月の働き方改革委員会にて検討・審議を行うという体制を構築する。

【医師本人への労働時間の通知方法】

計画策定時点での取組実績	新たに導入した勤怠システムにより医師が自身の労働時間を把握できる仕組みを整備した。
計画期間中の取組目標	課題等が出た際には、毎月の働き方改革委員会にて検討・審議を行うという体制を構築する。

(8) 医師の面接指導及び就業上の措置の実施体制

【産業医に相談可能な体制の整備】

計画策定時点での取組実績	なし
計画期間中の取組目標	面接指導対象医師が面接指導実施医師を通じて、産業医へと相談可能な体制を整備する。産業医の利用方法等を案内する。

【面接指導の実施にあたり、他職種がサポートする体制】

計画策定時点での取組実績	面接指導が円滑に実施にできるよう面接指導実施医師以外の職員を配置し、業務をサポートする体制を整備した。
計画期間中の取組目標	課題等が出た際には、毎月の働き方改革委員会にて検討・審議を行うという体制を構築する。

(9) 医師の医師の適切な勤務計画の作成

【月の時間外・休日労働時間が上限を超えないような勤務計画】

計画策定時点での取組実績	一部診療科においてはシフト制を導入し、月の労働時間の管理を行った。その他診療科についても、月の労働時間の状況を把握し、当直回数を減らすなどの取り組みを行った。
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組みつつ、一部の診療科においては遅出・早出勤務（時差出勤）の導入を検討する。

【法定休日が確保された勤務計画】

計画策定時点での取組実績	一部診療科においてはシフト制を導入し、月の労働時間の管理を行った。その他診療科についても、月の労働時間の状況を把握し、当直回数を減らすなどの取り組みを行った。
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む。

【副業・兼業先の労働時間を含めた勤務計画】

計画策定時点での取組実績	外勤先での勤務実態把握を行った。一部シフト制導入の診療科においては外勤を鑑みた勤務シフトを策定した。
計画期間中の取組目標	引き続き外勤先での勤務実態把握を行う。現状、そのデータ精度が課題である為、データ収集方法の見直しなど現行の運用面改善に努める。

【宿日直許可の有無による取扱いを踏まえた勤務計画】

計画策定時点での取組実績	宿日直許可の有無による取扱いを踏まえた勤務計画作成の手順書等を整備した。
計画期間中の取組目標	その精度が課題で有る為、運用面の改善に努める。

【勤務間インターバルの確保が実施できるような勤務計画】

計画策定時点での取組実績	長時間労働医師については適切に面談及び当直回数削減の検討など行うことで、インターバルが確保できるよう努めた。
計画期間中の取組目標	その精度が課題で有る為、運用面の改善に努める。

【代償休息を期限内に付与することができるような勤務計画】

計画策定時点での取組実績	勤怠システムにより長時間労働医師の休息の状況を確認し、必要に応じ指導した。
計画期間中の取組目標	その精度が課題で有る為、運用面の改善に努める。

【副業・兼業先までの移動時間を考慮し、休息の時間を配慮した勤務計画】

計画策定時点での取組実績	副業・兼業先までの移動時間を考慮し、休息の時間を配慮した勤務計画作成の手順書等を整備した。
計画期間中の取組目標	その精度が課題で有る為、運用面の改善に努める。

【勤務計画について、事務の統括部署が主体となった体制でダブルチェックを実施する体制】

計画策定時点での取組実績	対象となる長時間労働医師は随時勤怠状況を把握済み。医師全員の当院側での勤怠状況は概ねレベルで把握済み（但し外勤先データが未成熟）。
計画期間中の取組目標	その精度が課題で有る為、運用面の改善に努める。

(10) 医師の労働時間短縮に向けた研修・周知の実施

【医師に対しての勤怠管理等の周知】

計画策定時点での取組実績	医師に対して、勤怠管理や当人が実施すべき内容（始業・退勤時刻の申告、副業・兼業先の労働時間の申告、時間外労働の自己研鑽部分のルール確認等）について、少なくとも年に1回周知をした。
計画期間中の取組目標	その精度が課題で有る為、運用面の改善に努める。

【医師に対しての勤怠管理等に関する研修の実施】

計画策定時点での取組実績	BC 水準適用医師に対しては、勤怠管理や当人が理解すべき内容（始業・退勤時刻の申告、健康管理の重要性、面接指導の受診、勤務間インターバル確保等）に関する研修を年に1回は実施をした。
計画期間中の取組目標	その精度が課題で有る為、運用面の改善に努める。

(11) タスク・シフト／シェアの実施

【医師以外の職種へのタスク・シフト／シェア業務の適切な推進】

計画策定時点での取組実績	医師以外の職種へのタスク・シフト／シェア業務の適切な推進
--------------	------------------------------

	のために、働き方改革委員会の設置規程を整備した。
計画期間中の取組目標	その精度が課題で有る為、運用面の改善に努める。

【関係職種への説明会や研修の実施】

計画策定時点での取組実績	働き方改革委員会内に多職種の委員をおき、委員会内で働き方に関する知識等を共有した。
計画期間中の取組目標	その精度が課題で有る為、運用面の改善に努める。

(12) 医師の業務の見直しの実施

【休日の勤務体制に係る労働時間短縮のための取り組み】

計画策定時点での取組実績	なし
計画期間中の取組目標	医療機関全体において、休日の勤務体制について労働時間短縮のための取組を少なくとも一つは実施する。

【医師本人への労働時間の通知方法】

計画策定時点での取組実績	新たに導入した勤怠システムにより医師が自身の労働時間を把握できる仕組みを作った。
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む。

(13) 患者・地域への周知・理解促進への取組の実施

【近隣医療機関との病診連携】

計画策定時点での取組実績	なし
計画期間中の取組目標	近隣の医療機関に対し、病診連携等を意識した協同のメッセージや密なコミュニケーションを実施する。